

## ○ 選考結果（本市退職者が就任したもの）

【令和6年度に改選等が行われた役職（本市退職者が就任したもの）】

大阪市の監理対象団体における大阪市退職者の採用等に関する指針を定める規程（以下「退職者指針規程」といいます。）第3条第7項の規定に基づき報告のあった外郭団体の役員の選考基準、選考の経過及び結果を公表します。

なお、同項により公表することとされている当該本市退職者を役員に採用した理由（当該本市退職者が選考委員会の選考結果と異なる者である場合に限る。）については、該当がありませんので掲載しておりません。

団体名	項番	役職名
アジア太平洋トレードセンター株式会社	1	専務取締役
大阪シティバス株式会社	2	代表取締役社長
株式会社大阪港トランスポートシステム	3	常務取締役(総務担当)
	4	常務取締役(営業担当)
株式会社大阪水道総合サービス	5	専務取締役
クリアウォーターOSAKA株式会社	6	代表取締役
	7	常務取締役
阪神国際港湾株式会社	8	代表取締役副社長

(※)公募の結果、応募者がなかったため、退職者指針規程第3条第7項の規定に基づく報告はありません。

## 役員公募選考手続報告書

令和6年2月6日

大阪市経済戦略局長 様

アジア太平洋トレードセンター株式会社

当団体の役員について公募選考手続を行った結果、大阪市退職者を採用することとしたので、大阪市の監理対象団体における大阪市退職者の採用等に関する指針を定める規程第3条第7項の規定に基づき、次のとおり報告します。

## 記

## 1 役員の役職及び採用することとした者

- (1) 対象ポスト名：専務取締役
- (2) 採用者名：伊東 一哉  
大阪市退職時の所属・役職：大阪市中心卸売市場・市場長
- (3) 就任予定日及び任期：令和6年6月下旬開催予定の株主総会～令和8年の株主総会終了まで

## 2 役員選考委員会の構成

- (1) 外部委員  
2名（内訳：弁護士1名、税理士1名）
- (2) 内部委員  
1名
- (3) 大阪市退職者  
なし。

## 3 役員選考委員会で決定した選考基準

- (1) 選考の実施回数及び各回における書類審査、面接その他の選考方法  
一次選考 書類審査  
二次選考 面接審査
- (2) 評価項目、配点、合否判定基準及び各回における合格者数  
別紙のとおり。

## 4 役員選考委員会における選考経過

- |           |   |
|-----------|---|
| 令和6年1月10日 | 選考委員全員による一次選考を実施(17名中2名合格)                          |
| 2月5日      | 選考委員全員による二次選考(面接審査)を実施。<br>面接終了後、協議して2名中1名を最終合格者に決定 |
| 2月6日      | 各該当者へ通知   |

## 5 役員選考委員会における選考結果

別紙のとおり。

## 役員選考委員会における選考基準及び選考結果

		評価項目(配点)	応募者 9 番	応募者 14 番	その他の応募 者は別紙参照
1 次選考 (書面)	選考委員 A (外部)	志望動機の明確性(5 点)	13	16	別紙の とおり
		当社の経営課題の適切な把握(5 点)			
		経営課題対策の具体性及び将来性の展望(5 点)			
		文章表現の適切性及び論理性(5 点)			
	選考委員 B (外部)	志望動機の明確性(5 点)	15	16	
		当社の経営課題の適切な把握(5 点)			
		経営課題対策の具体性及び将来性の展望(5 点)			
		文章表現の適切性及び論理性(5 点)			
	選考委員 C (内部)	志望動機の明確性(5 点)	18	20	
		当社の経営課題の適切な把握(5 点)			
経営課題対策の具体性及び将来性の展望(5 点)					
文章表現の適切性及び論理性(5 点)					
		合計	46/60	52/60	
		合格者	○	○	
		合否判定基準	45/60 以上とする。		
2 次選考 (面接)	選考委員 A (外部)	マネジメント力・管理能力(5 点)	20/25	21/25	
		コンプライアンスやガバナンスに対する識見(5 点)			
		経営計画遂行能力(5 点)			
		企業財務の理解力(5 点)			
		地域活性化策(5 点)			
	選考委員 B (外部)	マネジメント力・管理能力(5 点)	20/25	21/25	
		コンプライアンスやガバナンスに対する識見(5 点)			
		経営計画遂行能力(5 点)			
		企業財務の理解力(5 点)			
		地域活性化策(5 点)			
	選考委員 C (内部)	マネジメント力・管理能力(5 点)	21/25	25/25	
		コンプライアンスやガバナンスに対する識見(5 点)			
		経営計画遂行能力(5 点)			
		企業財務の理解力(5 点)			
地域活性化策(5 点)					
		合計	61/75	67/75	
		1 次選考と 2 次選考の合計	107/135	119/135	
		最終合格者		○	
		最終合格者の判定基準	1 次選考と 2 次選考の合計が 101/135 以下である場合は、最高点の 者であっても不合格とし、合格者なし とする。		
		備考			

# 1別紙の別紙

## ■専務取締役応募者一覧

## 得点

	名 前	年齢	選考委員A	選考委員B	選考委員C	合計	平均
1			8	8	9	25	8
2			8	10	10	28	9
3			8	8	12	28	9
4			13	12	18	43	14
5			8	9	15	32	11
6			9	15	15	39	13
7			8	14	12	34	11
8			6	10	10	26	9
9			13	15	18	46	15
10			8	8	10	26	9
11			4	9	6	19	6
12			8	10	11	29	10
13			11	10	13	34	11
14			16	16	20	52	17
15			9	8	18	35	12
16			13	12	17	42	14
17			12	12	13	37	12

※各審査員の点数上位3位までに網掛け

※合計上位者、平均点（15点以上）などを勘案し、上位2名を面接対象者とする。

## 役員公募選考手続報告書

令和6年7月5日

大阪市都市交通局長 様

大阪シティバス株式会社

当団体の役員について公募選考手続を行った結果、大阪市退職者を採用することとしたので、大阪市の監理対象団体における大阪市退職者の採用等に関する指針を定める規程第3条第7項の規定に基づき、次のとおり報告します。

## 記

## 1 役員役職及び採用することとした者

## (1) 役職

代表取締役社長

## (2) 採用する大阪市退職者の氏名並びに大阪市退職時の所属及び補職

氏名：中村 和浩

大阪市退職時の所属及び補職：大阪市交通局鉄道事業本部運輸部長

## (3) 就任予定日及び任期

令和6年6月定時株主総会から令和7年6月定時株主総会まで

## 2 役員選考委員会の構成

## (1) 外部委員

3名（内訳：弁護士、社外取締役、Osaka Metro 取締役）

## (2) 内部委員等

0名

## 3 役員選考委員会で決定した選考基準

## (1) 選考の実施回数及び各回における書類審査、面接その他の選考方法

一次選考 書類審査

二次選考 面接

## (2) 評価項目、配点、合否判定基準及び各回における合格者数

別紙のとおり。

## 4 役員選考委員会における選考経過

令和6年5月27日～6月4日

選考委員全員による一次選考を実施（5名中1名は選考中辞退、3名合格）

6月5日

選考委員全員による二次選考（面接審査）を実施。面接終了後、協議して2名中1名（審査前辞退1名）を最終合格者に決定

## 5 役員選考委員会における選考結果

別紙のとおり。

## 代表取締役選考基準

## ○第1次選考（書類審査）

評価基準		配点
(求められる視点)		
① 募集する役職に対する民間企業や大きな組織における管理職経験の有効・期待度。		5点
② 募集要項に掲げる「求める知識・経験」に対する、経験・実績・知識・能力の有効・期待度。		5点
(特に重要な視点)		
① 大阪の交通課題を理解し、当社の掲げるモビリティミックス構想に積極的に主体性を以って取り組むこと。将来にわたり、大阪の移動需要を確保し、事業として成長させていく強い意志、企画力を有していること（外部候補者は当社のモビリティミックス構想の理解度は問わない）		5点
② 安全運行について、強い意志を持ち、何よりも優先すること。また慣習にこだわらず風土改革、意識改革に積極的に取り組むこと （気概があるか。具体的な考えることができるか）		5点
③ 運転士不足、2024年問題解消に積極的に取り組むこと		5点
④ 労務管理に精通し、法令遵守、コンプライアンス遵守に努めること（労務管理の知識はあるか。コンプライアンス遵守の意識は尊いものか）		5点
⑤ お客さまの利用状況に応じ、適正な輸送サービスを提供できるよう、お客さま目線で機動的な再編を企画、実行できること。また、俯瞰的に大局的に判断することができること		5点
⑥ OCBの事業の成長に向けて、新規事業に積極的に取り組む強い意志を持ち合わせていること（外部候補者は事業拡大の経験があることが望ましい）		5点
⑦ 路線バスの事業構造を理解し、経営健全化に向けて積極的に関わり、計画的な収支管理を実行しながら抜本的な改善に取り組むこと（外部候補者は経営を健全化させた経験があることが望ましい）		5点
⑧ 当社グループ会社としてのOCBの役割を理解できること		5点
合否判定基準	全委員の合計点（50点満点×3名＝150点）の50%を超えた者を第1次選考の合格者とする。	

## (評価点)

5点：きわめて高い

2点：比較的低い

4点：比較的高い

1点：きわめて低い

3点：普通（可もなく不可もなく）

※ 評価点間に属すると認められる場合は、その中間点の点数（4.5、3.5、2.5、1.5）とする。

## ○第2次選考（面接審査）

評価基準		配点
①代表取締役社長としての評価 ・当社の経営全般の見地から経営課題についての認識を深め、経営状況の推移と企業をめぐる環境の変化を的確に把握できるか。 ・当社の健全な経営発展のため、取締役・使用人に対して監査を通じた適切な助言又は勧告等の意見の表明ができるか。		5点

②職務遂行能力に関する評価 ・企業経営、財務会計、交通事業等の分野で高い見識や豊富な経験を有しているか。 ・組織マネジメントの経験、組織のガバナンスを行う能力・経験を有しているか。 ・企業価値向上に関して幅広い知見があるか。	5点
③コンプライアンス、ガバナンス ・様々な重要課題解決のため、経験を活用しながら高いコンプライアンス意識、ガバナンス意識を持って意欲的に取り組むことができるか。	5点
④リスクマネジメント ・危機管理において事故、不祥事の発生防止のために、リスクマネジメントに関する知識、不祥事等の対応経験があるか。	5点
⑤総合人物評価 ・面接姿勢からみた代表取締役社長としての適格性 ・人柄、性格等	5点
(求められる視点)	
① 募集する役職に対する民間企業や大きな組織における管理職経験の有効・期待度。	5点
② 募集要項に掲げる「求める知識・経験」に対する、経験・実績・知識・能力の有効・期待度。	5点
(特に重要な視点)	
① 大阪の交通課題を理解し、当社の掲げるモビリティミックス構想に積極的に主体性を以って取り組むこと。将来にわたり、大阪の移動需要を確保し、事業として成長させていく強い意志、企画力を有していること（外部候補者は当社のモビリティミックス構想の理解度は問わない）	5点
② 安全運行について、強い意志を持ち、何よりも優先すること。また慣習にこだわらず風土改革、意識改革に積極的に取り組むこと （気概があるか。具体的な考えることができるか）	5点
③ 運転士不足、2024年問題解消に積極的に取り組むこと	5点
④ 労務管理に精通し、法令遵守、コンプライアンス遵守に努めること（労務管理の知識はあるか。コンプライアンス遵守の意識は尊いものか）	5点
⑤ お客さまの利用状況に応じ、適正な輸送サービスを提供できるよう、お客さま目線で機動的な再編を企画、実行できること。また、俯瞰的に大局的に判断することができること	5点
⑥ OCBの事業の成長に向けて、新規事業に積極的に取り組む強い意志を持ち合わせていること（外部候補者は事業拡大の経験があることが望ましい）	5点
⑦ 路線バスの事業構造を理解し、経営健全化に向けて積極的に関わり、計画的な収支管理を実行しながら抜本的な改善に取り組むこと（外部候補者は経営を健全化させた経験があることが望ましい）	5点
⑧ 当社グループ会社としてのOCBの役割を理解できること	5点
合否判定基準	全委員の合計点（75点満点×3名＝225点）の50%を超えた者を第2次選考の合格候補者とし、順位1位を最終合格者とする。

## (評価点)

5点：きわめて高い

2点：比較的低い

4点：比較的高い

1点：きわめて低い

3点：普通（可もなく不可もなく）

※ 評価点間に属すると認められる場合は、その中間点の点数（4.5、3.5、2.5、1.5）とする。

## 代表取締役選考結果

## ○第1次選考（書類審査）結果

応募者	選考委員	小計	合計	得点率	順位	合格者
A	甲(外部)	32.5/50	73.5/150	49%	4	-
	乙(外部)	19/50				
	丙(外部)	22/50				
B	甲(外部)	43/50	121/150	81%	1	○
	乙(外部)	45/50				
	丙(外部)	33/50				
C	甲(外部)	35.5/50	81.5/150	54%	3	○
	乙(外部)	25/50				
	丙(外部)	21/50				
D	甲(外部)	33/50	92/150	61%	2	○
	乙(外部)	39/50				
	丙(外部)	20/50				
E	甲(外部)	-	-	-	-	辞退
	乙(外部)	-				
	丙(外部)	-				

## ○第2次選考（面接）結果

応募者	選考委員	小計	合計	得点率	順位	最終合格者
B	甲(外部)	64/75	176/225	78%	1	○
	乙(外部)	64/75				
	丙(外部)	48/75				
C	甲(外部)	50/75	131/225	58%	2	-
	乙(外部)	41/75				
	丙(外部)	40/75				
D	甲(外部)	-	-	-	-	辞退
	乙(外部)	-				
	丙(外部)	-				

## 役員公募選考手続報告書

令和6年3月14日

大阪港湾局長 様

株式会社大阪港トランスポートシステム

当団体の役員について公募選考手続を行った結果、大阪市退職者を採用することとしたので、大阪市の監理対象団体における大阪市退職者の採用等に関する指針を定める規程第3条第7項の規定に基づき、次のとおり報告します。

## 記

- 1 役員の役職及び採用することとした者
  - (1) 役職：常務取締役（総務担当）
  - (2) 採用する大阪市退職者の氏名：大東辰起  
大阪市退職時の所属及び補職：大阪市市政改革室・室長
  - (3) 就任予定日及び任期：令和6年6月26日の株主総会から令和7年6月の株主総会まで（1年）
- 2 役員選考委員会の構成
  - (1) 外部委員  
3名（内訳：弁護士1名、公認会計士2名）
  - (2) 内部委員等  
0名（うち、大阪市職員及び大阪市退職者0名）
- 3 役員選考委員会で決定した選考基準
  - (1) 選考の実施回数及び各回における書類審査、面接その他の選考方法  
一次選考 書類審査（1回）  
二次選考 面接審査（1回）
  - (2) 評価項目、配点、合否判定基準及び各回における合格者数  
別紙のとおり
- 4 役員選考委員会における選考経過  
令和6年2月19日 選考委員全員による一次選考を実施（2名中2名合格）  
3月7日 選考委員全員による二次選考（面接審査）を実施。面接終了後、協議して  
2名中1名を最終合格者に決定
- 5 役員選考委員会における選考結果  
別紙のとおり

## 役員選考委員会における選考基準及び選考結果(総務担当常務)

		評価項目(配点)	応募者甲	応募者乙		
1次選考 (書面)	選考委員 A (外部)	職務経験・資格(30点)	42/55	36/55		
		文章表現力(25点)				
	選考委員 B (外部)	職務経験・資格(30点)	47/55	34/55		
		文章表現力(25点)				
	選考委員 C (外部)	職務経験・資格(30点)	50/55	45/55		
		文章表現力(25点)				
	合計		139/165	115/165		
合格者		○	○			
合否判定基準		100/165 以上とする。				
2次選考 (面接)	選考委員 A (外部)	説明力(15点)	57/60	54/60		
		課題分析力(15点)				
		マネジメント力(15点)				
		業務に関する知識(15点)				
	選考委員 B (外部)	説明力(15点)	55/60	48/60		
		課題分析力(15点)				
		マネジメント力(15点)				
		業務に関する知識(15点)				
	選考委員 C (外部)	説明力(15点)	56/60	52/60		
		課題分析力(15点)				
		マネジメント力(15点)				
		業務に関する知識(15点)				
合計		168/180	154/180			
1次選考と2次選考の合計		307/345	269/345			
最終合格者		○	—			
最終合格者の判定基準		最高得点者かつ委員の過半数が合格と判断した者を最終合格者とする。				
備考		【※4】				

- ※1 募集要件との整合性に留意し、特に募集要件のうち「求める人物像」として掲げた事項について、選考過程において適切に評価が行われるよう設定した評価項目を記載すること。
- ※2 選考委員の氏名の記載は不要であるが、外部委員・内部委員等の内訳は記載すること。
- ※3 各応募者の評価点の評価項目ごとの内訳の記載は不要
- ※4 募集要件に明示していなかった消極的事項が判明し、不合格と判断した事例が生じた場合は、具体的に記載すること。

## 役員公募選考手続報告書

令和6年3月14日

大阪港湾局長 様

株式会社大阪港トランスポートシステム

当団体の役員について公募選考手続を行った結果、大阪市退職者を採用することとしたので、大阪市の監理対象団体における大阪市退職者の採用等に関する指針を定める規程第3条第7項の規定に基づき、次のとおり報告します。

## 記

- 1 役員役職及び採用することとした者
  - (1) 役職：常務取締役（営業担当）
  - (2) 採用する大阪市退職者の氏名：竹下徹  
大阪市退職時の所属及び補職：大阪市港湾局臨海地域活性化室立地促進担当課長代理
  - (3) 就任予定日及び任期：令和6年6月26日の株主総会から令和7年6月の株主総会まで（1年）
- 2 役員選考委員会の構成
  - (1) 外部委員  
3名（内訳：弁護士1名、公認会計士2名）
  - (2) 内部委員等  
0名（うち、大阪市職員及び大阪市退職者0名）
- 3 役員選考委員会で決定した選考基準
  - (1) 選考の実施回数及び各回における書類審査、面接その他の選考方法  
一次選考 書類審査（1回）  
二次選考 面接審査（1回）
  - (2) 評価項目、配点、合否判定基準及び各回における合格者数  
別紙のとおり
- 4 役員選考委員会における選考経過  
令和6年2月19日 選考委員全員による一次選考を実施（4名中3名合格）  
3月7日 選考委員全員による二次選考（面接審査）を実施。面接終了後、協議して  
3名中1名を最終合格者に決定
- 5 役員選考委員会における選考結果  
別紙のとおり

## 役員選考委員会における選考基準及び選考結果(営業担当常務)

		評価項目(配点)	応募者甲	応募者乙	応募者丙	応募者丁
1次選考 (書面)	選考委員 A (外部)	職務経験・資格(30点)	50/55	33/55	33/55	37/55
		文章表現力(25点)				
	選考委員 B (外部)	職務経験・資格(30点)	55/55	24/55	33/55	24/55
		文章表現力(25点)				
	選考委員 C (外部)	職務経験・資格(30点)	54/55	39/55	46/55	46/55
		文章表現力(25点)				
	合計		159/165	96/165	112/165	107/165
	合格者		○	—	○	○
合否判定基準		100/165以上とする。				
2次選考 (面接)	選考委員 A (外部)	説明力(15点)	57/60		45/60	43/60
		課題分析力(15点)				
		マネジメント力(15点)				
		業務に関する知識(15点)				
	選考委員 B (外部)	説明力(15点)	60/60		33/60	33/60
		課題分析力(15点)				
		マネジメント力(15点)				
		業務に関する知識(15点)				
	選考委員 C (外部)	説明力(15点)	58/60		49/60	52/60
		課題分析力(15点)				
		マネジメント力(15点)				
		業務に関する知識(15点)				
	合計		175/180		127/180	128/180
1次選考と2次選考の合計		334/345		239/345	235/345	
最終合格者		○		—	—	
最終合格者の判定基準		最高得点者かつ委員の過半数が合格と判断した者を最終合格者とする。				
備考		【※4】				

- ※1 募集要件との整合性に留意し、特に募集要件のうち「求める人物像」として掲げた事項について、選考過程において適切に評価が行われるよう設定した評価項目を記載すること。
- ※2 選考委員の氏名の記載は不要であるが、外部委員・内部委員等の内訳は記載すること。
- ※3 各応募者の評価点の評価項目ごとの内訳の記載は不要
- ※4 募集要件に明示していなかった消極的事項が判明し、不合格と判断した事例が生じた場合は、具体的に記載すること。

## 役員公募選考手続報告書

令和6年2月26日

大阪市水道局長  
谷川 友彦 様

株式会社 大阪水道総合サービス  
代表取締役 松本 広司

当団体の役員について公募選考手続を行った結果、大阪市退職者を採用することとしたので、大阪市の監理対象団体における大阪市退職者の採用等に関する指針を定める規程第3条第7項の規定に基づき、次のとおり報告します。

## 記

- 1 役員役職及び採用することとした者
  - (1) 役職  
専務取締役
  - (2) 採用する大阪市退職者の氏名並びに大阪市退職時の所属及び補職  
川内 武彦 水道局理事
  - (3) 就任予定日及び任期  
令和6年6月開催予定の定時株主総会開催日から令和8年6月開催予定の定時株主総会終結の時まで
- 2 役員選考委員会の構成
  - (1) 外部委員  
2名（内訳：社外取締役1名、弁護士1名）
  - (2) 内部委員  
1名
  - (3) 大阪市退職者  
なし
- 3 役員選考委員会で決定した選考基準
  - (1) 選考の実施回数及び各回における書類審査、面接その他の選考方法  
一次選考 書類審査 1回  
二次選考 面接審査 1回
  - (2) 評価項目、配点、合否判定基準及び各回における合格者数  
別紙のとおり
- 4 役員選考委員会における選考経過  
令和6年2月 2日 選考委員全員による一次選考を実施（8人中3人合格）  
2月15日 選考委員全員による二次選考（面接審査）を実施。面接終了後、協議して3名中1名を最終合格者に決定
- 5 役員選考委員会における選考結果  
別紙のとおり

役員選考委員会における選考基準及び選考結果（専務取締役）

		評価項目	配点	候補者①	候補者②	候補者③	候補者④	候補者⑤	候補者⑥	候補者⑦	候補者⑧	
1 次 選 考 （ 書 面 ）	選考委員A （外部）	募集する役職に対する当社規模相当の組織における管理職経験	5	5.0	4.0	3.0	4.0	3.0	3.0	4.0	4.0	
		募集要項に掲げる「求める知識・経験」に対する、経験・実績・知識・能力	5	5.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0	
		役員への就任に向けた意欲・熱意	5	5.0	4.0	3.0	4.0	3.0	3.0	3.0	3.0	4.0
		当社及び水道事業に関する現状・課題認識、課題解決及び成長戦略に向けた展望（発想の独自性、提案の戦略性・実現性）	5	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	3.0	4.0	4.0
		文章の構成、内容及び表現力	5	4.0	4.0	3.0	4.0	3.0	3.0	3.0	3.0	4.0
	選考委員B （外部）	募集する役職に対する当社規模相当の組織における管理職経験	5	4.5	3.5	3.5	4.0	3.5	4.0	3.0	3.0	3.0
		募集要項に掲げる「求める知識・経験」に対する、経験・実績・知識・能力	5	4.0	3.5	3.0	3.0	3.5	4.0	3.5	3.5	3.5
		役員への就任に向けた意欲・熱意	5	4.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.5	3.5	3.0
		当社及び水道事業に関する現状・課題認識、課題解決及び成長戦略に向けた展望（発想の独自性、提案の戦略性・実現性）	5	4.5	3.0	2.5	3.0	3.5	3.5	3.5	3.5	3.0
		文章の構成、内容及び表現力	5	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	選考委員C （内部）	募集する役職に対する当社規模相当の組織における管理職経験	5	4.0	4.0	2.0	4.0	4.0	4.0	3.0	3.0	4.0
		募集要項に掲げる「求める知識・経験」に対する、経験・実績・知識・能力	5	4.0	3.0	1.0	3.0	2.0	3.0	2.0	3.0	3.0
		役員への就任に向けた意欲・熱意	5	4.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	4.0
		当社及び水道事業に関する現状・課題認識、課題解決及び成長戦略に向けた展望（発想の独自性、提案の戦略性・実現性）	5	4.0	3.0	1.0	2.0	2.0	2.0	3.0	4.0	3.0
		文章の構成、内容及び表現力	5	3.0	3.0	1.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	合計			75	63.5	51.0	38.0	48.0	44.5	48.0	49.5	52.5
	合格者				○	○						○
	合否判定基準				合計点が50点以上の応募者を合格とする。							
	2 次 選 考 （ 面 接 ）	選考委員A （外部）	実績・経験	5	5.0	4.0	-	-	-	-	-	4.5
			業務遂行能力（実行力・戦略策定能力等）	5	4.0	4.0	-	-	-	-	-	-
渉外能力・情報収集力（交渉・調整の経験）			5	4.0	4.0	-	-	-	-	-	-	3.5
経営方針・中期経営計画に対する考え（理解力・判断力等）			5	4.5	4.5	-	-	-	-	-	-	4.0
リスクマネジメントに関する経験・知見			5	3.5	3.0	-	-	-	-	-	-	4.0
専務取締役としての評価（資質・信頼性・意欲・熱意等）			5	4.5	3.5	-	-	-	-	-	-	4.0
総合人物評価（人格・人間性等）			5	4.5	4.0	-	-	-	-	-	-	4.5
選考委員B （外部）		実績・経験	5	4.5	3.0	-	-	-	-	-	-	4.0
		業務遂行能力（実行力・戦略策定能力等）	5	4.5	3.0	-	-	-	-	-	-	4.0
		渉外能力・情報収集力（交渉・調整の経験）	5	4.0	3.5	-	-	-	-	-	-	4.5
		経営方針・中期経営計画に対する考え（理解力・判断力等）	5	4.5	3.5	-	-	-	-	-	-	4.0
		リスクマネジメントに関する経験・知見	5	4.5	3.0	-	-	-	-	-	-	4.0
		専務取締役としての評価（資質・信頼性・意欲・熱意等）	5	4.5	4.0	-	-	-	-	-	-	4.0
		総合人物評価（人格・人間性等）	5	4.0	3.5	-	-	-	-	-	-	4.5
選考委員C （内部）		実績・経験	5	4.0	3.0	-	-	-	-	-	-	3.0
		業務遂行能力（実行力・戦略策定能力等）	5	4.0	4.0	-	-	-	-	-	-	3.0
		渉外能力・情報収集力（交渉・調整の経験）	5	4.0	3.0	-	-	-	-	-	-	3.0
		経営方針・中期経営計画に対する考え（理解力・判断力等）	5	4.0	2.0	-	-	-	-	-	-	4.0
		リスクマネジメントに関する経験・知見	5	3.0	3.0	-	-	-	-	-	-	4.0
		専務取締役としての評価（資質・信頼性・意欲・熱意等）	5	4.0	4.0	-	-	-	-	-	-	3.0
	総合人物評価（人格・人間性等）	5	4.0	2.0	-	-	-	-	-	-	4.0	
合計			105	87.5	71.5	-	-	-	-	-	81.5	
最終合格者				○								
最終合格者の判定基準				合計点が70点以上で最高位の応募者を合格とする。								

## 役員公募選考手続報告書

令和6年3月25日

建設局長様

クリアウォーターOSAKA 株式会社

当団体の役員について公募選考手続を行った結果、大阪市退職者を採用することとしたので、大阪市の監理対象団体における大阪市退職者の採用等に関する指針を定める規程第3条第7項の規定に基づき、次のとおり報告します。

## 記

## 1 役員役職及び採用することとした者

- (1) 役職 代表取締役
- (2) 採用する大阪市退職者の氏名並びに大阪市退職時の所属及び補職  
氏名：城居 宏  
所属及び補職：大阪市経済戦略局理事
- (3) 就任予定日及び任期  
就任予定日：令和6年6月（予定）定時株主総会  
任期：令和8年6月（予定）定時株主総会まで

## 2 役員選考委員会の構成

- (1) 外部委員  
3名（内訳：大学教授1名、企業取締役1名、弁護士1名）
- (2) 内部委員  
0名
- (3) 大阪市退職者  
なし

## 3 役員選考委員会で決定した選考基準

- (1) 選考の実施回数及び各回における書類審査、面接その他の選考方法  
一次選考 書類審査（職歴等・課題レポート）  
二次選考 面接
- (2) 評価項目、配点、合否判定基準及び各回における合格者数  
別紙のとおり（合格者数：1名）

## 4 役員選考委員会における選考経過

令和6年3月1日 選考委員全員による一次選考を実施（1人中1人合格）  
3月7日 選考委員全員による二次選考（面接審査）を実施。面接終了後、協議し1名中1名を最終合格者に決定

## 5 役員選考委員会における選考結果

選考委員の合議により、長い行政経験に基づく幅広い知見とともに、上下水道事業に関する深い知識・経験を有しており、また企業経営者としての知識や能力を相応に身につけていることから会社の持続的な発展に繋げていくリーダーシップを有していると判断された。

## 役員選考委員会における選考基準及び選考結果(常勤役員(代表取締役)候補)

## 第1次審査(書類選考)

応募者	評価項目	配点	選考委員 A(外部)	選考委員 B(外部)	選考委員 C(外部)	合否
①	企業等の役員又は管理部門としての経験を有するか	10点	95/100	90/100	100/100	合
	都市インフラに関する分野の経験を有するか	10点				
	当社業務に十分な理解があるか	10点				
	志望動機に熱意を感じられるか	10点				
	その他特筆すべき職歴を有するか (経営戦略にかかる業務の役割を担った経験があるか など)	10点				
	当社の求めるレポートの趣旨に沿った記載がなされているか	20点				
	当社の更なる発展に向けた取組の記述に関し、その方策の 具体性や実現性を有するか	20点				
	その他特筆すべき記述があるか (長期的なビジョンが示されている など)	10点				
	60点以上					

合否判定基準: 規定以上(60点以上)の評定点を獲得した応募者を第2次審査の対象者とする。  
 評定点が規定以上の応募者が5名以上の場合は、評定点の上位3名を第2次審査の対象者とする。  
 規定以上の評定点を獲得した応募者がいない場合、第2次審査の実施については選考委員が協議の上決定する。

## 第2次審査(面接選考)

応募者	評価項目	配点	選考委員 A(外部)	選考委員 B(外部)	選考委員 C(外部)	評定点 合計	最終 合格者
①	話し方、態度等が常勤役員(代表取締役)候補として相応しいか	10点	95/100	90/100	100/100	285/300	○
	前向きに課題に取り組み問題を解決しようとする意欲や熱意を感じられるか	10点					
	考え方に独善的などところはないか、他人の意見を聞く姿勢を有するか	10点					
	社員を引っ張るリーダーシップ・決断力が伺えるか	10点					
	責任感・誠実性が伺えるか	10点					
	当社の業務内容に関する知識や経験を持ち合わせているか	20点					
	企業経営者としての知識や能力を持ち合わせているか	20点					
	その他特筆すべき知識や能力を有するか (都市インフラに関する法務関係 など)	10点					

最終合格者の採点基準: 第2次審査の評定点を合計し、上位の応募者1名を選定する。  
 評定点の合計が同点となった場合は、委員の合議により決定する。

## 《評価項目の採点基準》

10点<1次・2次共通>		20点<1次>		20点<2次>	
優	10点	優	20点	優	20点
可	5点	良	15点	可	10点
不可	0点	可	5点	不可	0点
		不可	0点		

## 役員公募選考手続報告書

令和6年3月29日

大阪港湾局長 様

阪神国際港湾株式会社

当団体の役員について公募選考手続を行った結果、大阪市退職者を採用することとしたので、大阪市の監理対象団体における大阪市退職者の採用等に関する指針を定める規程第3条第7項の規定に基づき、次のとおり報告します。

## 記

## 1 役員役職及び採用することとした者

- (1) 役職：代表取締役副社長
- (2) 採用する大阪市退職者の氏名並びに大阪市退職時の所属及び補職：田中 利光、大阪港湾局長
- (3) 就任予定日及び任期：令和6年6月24日（予定）から令和8年6月（予定）の定時株主総会終結までの間

## 2 役員選考委員会の構成

- (1) 外部委員  
2名（内訳：社外監査役1名、弁護士1名）
- (2) 内部委員  
2名（代表取締役社長、取締役副社長）
- (3) 大阪市退職者  
なし

## 3 役員選考委員会で決定した選考基準

- (1) 選考の実施回数及び各回における書類審査、面接その他の選考方法  
一次選考 書類審査  
二次選考 面接審査
- (2) 評価項目、配点、合否判定基準及び各回における合格者数  
別紙のとおり

## 4 役員選考委員会における選考経過

令和6年3月6～11日	選考委員全員による一次選考を実施(2名中1名合格)
3月27日	選考委員全員による二次選考(面接審査)を実施。 面接終了後、委員会において協議し最終合格者を決定。

## 5 役員選考委員会における選考結果

別紙のとおり

以上

## 委員選考委員会における選考結果【集計表】

第1次選考（書類審査）評価表  
実施日：令和6年3月6日～11日

評価項目	応募者 選考委員	配点	応募者甲				応募者乙			
			選考委員A (内部)	選考委員B (内部)	選考委員C (外部)	選考委員D (外部)	選考委員A (内部)	選考委員B (内部)	選考委員C (外部)	選考委員D (外部)
1-①	・経営者としての高度な見識と判断力を有しているか。	5点	5	4	5	5	2	2	4	4
1-②	・経営者として、物事を解決するための提案力と実行力を有しているか。	5点	5	5	5	5	2	3	4	5
1-③	・組織の統率力、リーダーシップを有しているか。	5点	4	4	5	5	2	3	4	5
1-④	・阪神港の発展に貢献する能力、意欲を有しているか。	5点	4	5	5	5	3	2	3	4
評価点 計			18	18	20	20	9	10	15	18
評価点 合計			76				52			
選考委員4名の平均合計点			19.00				13.00			
合否判定基準			選考委員4名の平均点が最低15点以上必要							
第1次選考合否			合格				否			

第2次選考（面接審査）評価表  
実施日：令和6年3月27日

評価項目	選考委員	配点	選考委員A	選考委員B	選考委員C	選考委員D	選考委員A	選考委員B	選考委員C	選考委員D
			(内部)	(内部)	(外部)	(外部)	(内部)	(内部)	(外部)	(外部)
2-①	・経営者としての高度な見識と判断力を有しているか。	5点	5	4	4	5	-	-	-	-
2-②	・経営者として、物事を解決するための提案力と実行力を有しているか。	5点	4	5	5	5	-	-	-	-
2-③	・組織の統率力、リーダーシップを有しているか。	5点	4	5	5	5	-	-	-	-
2-④	・阪神港の発展に貢献する能力、意欲を有しているか。	5点	5	5	5	5	-	-	-	-
2-⑤	・経営者として関係者、団体との交渉や調整する能力を有していたか。	5点	5	5	5	5	-	-	-	-
2-⑥	・当社の経営方針や中期経営計画及びこれらに係る課題について考えを持っていたか。	5点	5	5	5	5	-	-	-	-
2-⑦	・港湾物流に関する見識と理解を有していたか。	5点	5	4	5	5	-	-	-	-
2-⑧	・国際コンテナ戦略港湾についてどの程度理解をしていたか。	5点	5	5	5	5	-	-	-	-
評価点 計			38	38	39	40	0	0	0	0
評価点 合計			155				0			
選考委員4名の平均合計点			38.75				0.00			
第1次選考、第2次選考の平均点合計			57.75				13.00			
合否判定基準			1次選考と2次選考の委員4名の平均点合計が最低40点以上（60点満点）必要							
第2次選考（最終）合否			合格				-			